経口移行／思い出の一品
ヘルスケア・レストラン
2014年6月

特集 食べるための胃ろうをめざして
私たちの経口移行への挑戦

思い出の一品を紹介します
患者さんとの絆が深まる

新・食に焦点
常食と変わらぬ見立てで提供
脂質代謝異常食

ダイエットセラピー
ウェルージュ川崎

シューズマーク
人気のメニューを集めたベストオブ洋食！
事例

経鼻経管栄養を経口摂取において

井口由香梨 1) 藤井辰義 2) 渡辺健一 3) 野村勝彦 3) 山下美紀枝 4)

水戸裕香 5) 医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院NST

1) NST専属管理栄養士
2) 内科
3) 看護師
4) 看護師
5) 看護師

摂取方法の検討、工夫を重ねることで

NG管摂取

当院の概要

当院は広島市西部地区における唯一の脳神経外科専門病院であり、脳卒中領域では超急性期から回復期まで、在宅まで1つ2台の医療機関で完結治療ができる医療機関で、NSTをはじめとする医師、看護師、理学療法士、カテーテルチーム（栄養士）で治療に携わっています。

症例

【症例】

主訴：左被盖出血

患者：57歳 男性

過去歴：高血圧・糖尿病

過去の検査所見：頭部MRI

経過：出血部位は左基底核

診断：左基底核出血

治療：経鼻経管栄養

経過：栄養摂取は順調に進む

考察：経鼻経管栄養の利点は、経口摂取が難しい場合や、急激な体重減少をきたす場合などに有用である。しかし、栄養素の摂取量を制限することがあるため、個々の患者の状態に応じてその使用を考慮する必要がある。
食べられるための胃ろうをめざして
私たちの経口移行への挑戦

管理栄養士...ミキサー食*1

0回までは、シリンジで提供する
時間に調剤するよう、車いす離
邦料食べやすい上額を下げた
とを提案。

薬剤師...経口摂取可能である
カルテルで経口摂取を考慮し、シリ
ンジでの経口訓練は、経口摂取を

ふう。シリンジでのミキサー食の
提案となった。

第31回目

第31回目JCS-I 3 嘔吐障害Gr 7

第36回目JCS-I 3 嘔吐障害Gr 7

第35回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第35回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第34回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第33回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第32回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第31回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第30回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第29回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第28回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第27回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第26回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第25回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第24回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第23回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第22回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第21回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第20回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第19回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第18回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第17回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第16回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第15回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第14回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第13回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第12回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第11回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第10回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第9回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第8回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第7回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第6回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第5回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第4回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第3回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第2回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

第1回目JCS-I 1 3 嘔吐障害Gr 5

まとめる

近年、胃ろうの造設の普及に伴ってその
適応などについての検討が活発となって
ます。具体的には、これらの検討を
改善しているため、経胃栄養法となっ
ていることを提案し、NIST介入を終了し
た。

NIST介入終了1ヶ月後 HbA1c: 6.3%